

患者説明文書

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	当院における 10 年間の巨大児分娩の後方視的検討
当院の研究責任者 (所属)	高岡 宰 産婦人科 医長
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	本邦では在胎週数を問わず 4000 g 以上で出生した児を巨大児とし、出生総数のおよそ 0.78% である。 巨大児の分娩は肩甲難産や緊急帝王切開のリスクが上昇するが、リスク回避のための分娩誘発や選択的帝王切開の有効性を示すエビデンスは乏しく、分娩方法の決定に苦慮する。 当院の過去 10 年間 (2012 年 7 月から 2022 年 6 月) の助産記録から 4000g 以上の新生児を抽出し、当院の巨大児分娩について後方視的に緊急帝王切開、肩甲難産および吸引分娩のリスクを検討することを研究の目的とする。
調査データ 該当期間	2012 年 7 月から 2022 年 6 月までの 10 年間
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内の分娩 5911 例のうち 4000g 以上の巨大児分娩は 43 例 (0.73%) ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。また患者希望あれば撤回はいつでも可能です。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：075-561-1121 (代表) 担当者：京都第一赤十字病院産婦人科 医長 高岡 宰
備考	